

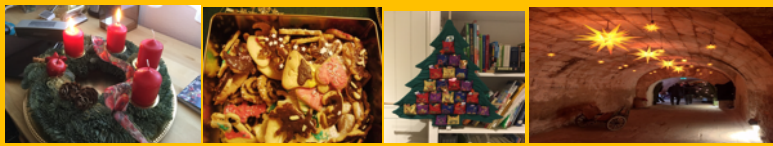
News from Deutschland

～クリスマス特集🎄～

クリスマスは、ドイツではとって特別な宗教的で伝統的な行事です。考案的には、日本で言ったらお正月のような行事でしょうか。ドイツに来る前に色々調べてきましたが、私もクリスマスについてはこちらで過ごして新しく知ったことがたくさんあります！それにしても今年は暖冬で気候は春みたい、ホワイトクリスマスは見れなさそうです。

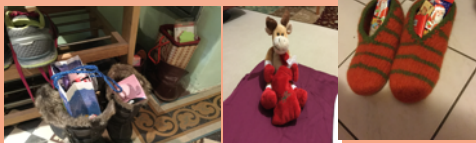
アドベント

24日の4つ前の日曜日からアドヴェント期間に入りアドベントカレンダーと共にクリスマスまでカウントダウンします。クリスマスマーケットも始まり、どんどんクリスマスを迎える雰囲気溢れます。それぞれのお家には大きな星の飾りが玄関に灯ります。形が金平糖みたいでかわいいです* 第一アドヴェントでは(1回目の日曜日)クラッツという、四つのキャンドルを乗せた置く形のリースを作り毎日曜日に、一つまた一つと火を灯していきます。第二アドヴェントでは、クッキーを焼きます(待ちきれず第一アドヴェントにやるお家も)



聖ニコラウスの日

12/06は、Nikolaus という日。ドイツでは二回プレゼントがもらえるんです！前日の夜にブーツを磨いて寝ると翌朝お菓子が入ってるという行事。(悪い子には炭)私にもニコラウスきました！



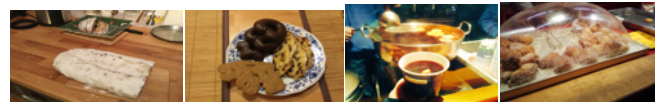
くるみ割り人形。こちらのクリスマスではナッツを割りながらたくさん食べます。バレー「くるみ割り人形」は、クリスマスにみる作品です。



クリスマスツリー

大体の家が、町のクリスマス用のツリー売り場でもみの木を買います。車の上に縛り付け家まで運ぶ光景がよく見られました！でも、すぐに飾り付けするのでなく、剪定してとったものをリースに使ったりして、クリスマス直前の第四アドヴェントくらいに家族みんなで飾り付けをします。飾りは、クリスマスマーケットでたくさん売っていてどれも手作りで高いです。毎年いいものを見つけるたびに買うようでコレクション箱みたいなのに入っていました。友達に聞いたのは、24日に飾り付け終わったツリーの下にみんなそれぞれプレゼントを置いて、夕ご飯を食べ終わったらお待ちかねのプレゼント交換タイムだそうです。大人子ども関係なく交換します。ドイツにサンタさんがプレゼントを持ってくるというのは無いみたいです。(ニコラウスは24日まで待ってられないからあるらしい。もともとはクリスマスとは関係ない民話らしい)24日が楽しみです。

クリスマスの食べ物



ドイツでは、夏休み、冬休み、春休み(イースター休暇)の他に、秋休み、クリスマス休みがあります。休みは経済が止まらないよう州ごとに決められていてクリスマス休みは二週間です。(ただ祝日は学校が休みにはなりません…)いつも毎週日曜日は閉まっているお店もクリスマス直前の日曜日の午後は、営業しています。24,25,26日に向けてたくさんの人がスーパーに殺到しレジが大混雑！(クリスマス期間は、お正月のようにお店はやってません。)友達にクリスマスは日本に帰ると訊かれました。それくらいクリスマスは家族で静かにゆっくりと過ごす大事なイベントなんだと思います。クリスマスが明けたら日ものびてきます。待ち遠しいです。

ドレスデンで有名なシュトレン。おもしろ菓子パンです。二枚目の写真に切ったものがのっています。他のふたつはシュペコラティウスケクセとハート型のリープクーヘン(フェッフアークーヘン)シナモンたっぷりクッキー。リープクーヘンはバウムクーヘンのようなしっとりシナモン味の生地にフルーツジャム、そしてチョコがコーティングされています。シナモン、ナッツはドイツ人にとってクリスマスの味だそうです。それにしてもどれも素朴で素直な味です。日本でも作ってみたいです。